

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票					No.	12-004	
PDCA	事務事業名	半田運河活性化推進事業	部課等名	市民経済部観光課	担当	酒井	
					内線等	326	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 1. 観光 単位施策： (1) 観光資源の活用 個別施策： ①観光資源の充実					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	半田運河の景観や醸造の歴史・文化を活かしたイベントを充実させ、年間を通じて賑わいの創出を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	HOTORIイベント（brunch、SAKABA、朝市（HOTORI市））やCanal Night、萬三の白モッコウバラ祭等の半田運河の景観や歴史・文化を活かしたイベントを実施し、半田運河をPRするとともに誘客を図る。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①半田運河HOTORI brunch来場者数		6,000	6,100	人	
		②半田運河HOTORI SAKABA来場者数		3,400	7,500	人	
		③半田運河HOTORI brunch 1回開催あたり平均出店数		27	32	店	
		事業費		13,566	17,554	千円	
		人件費		7,495	7,452	千円	
		総事業費		21,061	25,006	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①半田運河周辺観光入込客数 1人当たりの事業費		78	62	円		
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①半田運河周辺年間観光入込客数	実績値	270	402	千人	
			目標値	270	430		
			実績値				
			目標値				
実績値							
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
		B					
		2月下旬からの新型コロナウイルスの影響によるイベント中止や、観光施設等の休館により半田運河周辺観光入込客数の目標値は達成できなかったが、半田運河HOTORIイベント（brunch、SAKABA、朝市）やCanal Night、和文に親しむイベント（萬三の白モッコウバラ祭、着物でまち歩き）の実施により、半田運河の新たな魅力の創出と活性化につなげることができた。また、写真掲載を中心としたブランディングブックを作成しPRをすることで、半田運河の知名度とイメージ向上を図ることができた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進 HOTORI SAKABA、brunchやCanal Night等半田運河周辺イベントは来場者が集中するイベントであるため、新型コロナウイルス感染症が収束するまでは開催が困難であるが、感染症収束後の反転攻勢を見据えた事前のPRとして、半田運河のPR誌の作成やホームページ、SNSを活用したプロモーションに取り組んでいく。					
	令和2年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①半田運河周辺観光入込客数(新型コロナウイルスの影響がない場合)	430		千人		